

## 次期計画に係る令和 7 年度第 1 回審議会からの主な意見に対する対応について

次期計画について、令和 7 年度第 1 回審議会（令和 7 年 5 月 30 日開催）においていただいたご意見を踏まえ、次のとおり対応を整理しました。

また、施策体系のたたき台を資料 1 - 3 として整理しましたので、本日の審議会では、これらについてのご意見も賜りますよう、お願い申し上げます。

### 1 新たな計画では、数値目標を設定しないことについて

- これまで数値目標としてきた開業率、黒字企業の割合について、目標は設定しなくとも、数値については引き続き追っていくべき。

#### (対応案)

- ・ 「開業率」及び「黒字企業の割合」については、他県との比較により神奈川県の高い立ち位置を知るうえで重要な指標であることから、今後も参考指標として把握をしていくこととする。

### 2 施策目標と業績評価指標（K P I）の関係性について

- 大柱に紐づく施策目標の達成に向けた進捗状況がよくないにもかかわらず、中柱の K P I の達成状況が非常によいものがある。

#### (対応案)

- ・ 中柱の K P I について、大柱の施策目標達成に向けて、より関連性が高いものを設定する。

### 3 人材確保にかかる大柱の順番等について

- 中小企業・小規模企業にとって、人手不足が目下の最大の経営課題である。絶対的な労働力人口が減っていく中で、多様な人材の確保や経営基盤の強化を進めていく必要がある。
- 人材に関する部分が 1 番重要であると活性化審議会でも位置付けるのであれば、それを意識した大柱の並びにした方がよい。
- 人材確保は小規模企業にとって大きな問題。まずは人材確保ということで、順番を 1 番に持ってきてもらいたい。

#### (対応案)

- ・ 大柱の 1 番、2 番については、現計画の順番を維持しつつ、その次に、県内中小企業・小規模企業にとって目下の最大の経営課題である「人材の確保・採用・育成」に関する取組を位置付けることとする。
- ・ 現計画の大柱の 1 つである「地域ぐるみで総力を挙げた中小企業・小規模企業の支援」を「中小企業・小規模企業の経営基盤強化」に改める。